



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

ぐんま集排だより



ゲートボールを楽しむ浜川地区の人たち (処理施設前のふれあい広場にて)

処理施設を訪ねて

高崎市浜川地区 推進委員長 長野 徹

浜川地区について教えてください。

浜川地区は高崎市の北西部に位置し、北は箕郷町、東は一級河川井野川を境にして群馬町に接する集落です。

この地域は昭和61年から平成2年にかけてほ場整備した米、麦、野菜を主な生産物とする農業振興地域であり、今年には減反した水田を利用して7ヘクタールの蕎麦の栽培をするという農業の意気盛んな地域です。

事業への取り組みについて教えてください。

浜川地区の各集落の生活雑排水は直接農業用水路に流入し、その下流で農業用水として利用されてきました。

また、トイレも汲み取りの家庭が40%を超えるなど環境面での立ち遅れが目立っている地域でしたので農村下水道(農業集落排水事業)に対する私たちの要望は切実でした。昭和62年から事業が始まりましたが、処理場用地は、ほ場整備事業で非農用地をうみだし、処理場用地約二、〇〇〇㎡と、隣接してアスレチックやゲートボールのできるふれあい公園の用地約二、八〇〇㎡を確保しました。

現状及び今後の課題についてお聞かせ下さい。

早朝にはゲートボール、休日は子供達の元気な遊び声で賑わっています。

平成3年から供用を開始し、現在、区域内全戸数の95%が接続を済ませています。しかし、農村下水道が整備されてから大幅に人口が増加し、計画流入量を超える状況になってきているので処理施設の増設が必要になるのではと考えています。

現在、地域の住民が交代で、年に4

〜5回処理場やふれあい広場の除草や清掃等環境整備をおこなっています。明るい地域創りの要の施設として、今後とも大切に利用していきたいと願っています。



浜川地区処理施設全景

処理場から発生する汚泥は大切な資源です。

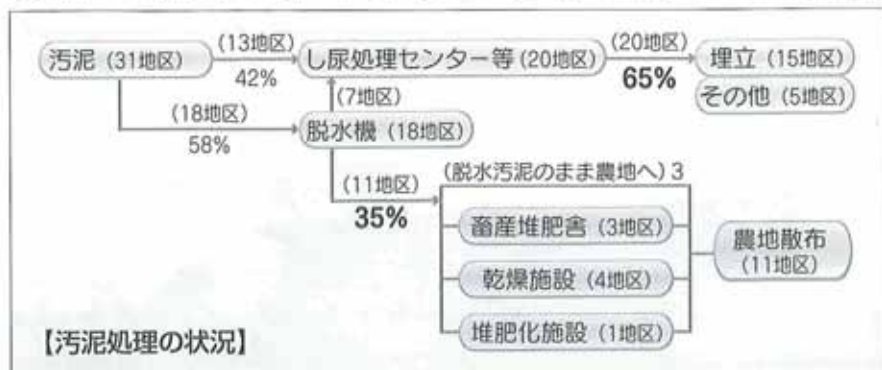
現在の汚泥処理状況

現在みなさんが使っている処理施設（31地区）から発生する汚泥は、し尿処理センター等で処理しているのが65%、農地へ戻しているのが35%という状況です。処理施設に貯まっている汚泥はほとんど水のどろどろした



写真1 脱水汚泥の散布状況

もので、取り扱いはづらい状態です。し尿処理センターへはバキュームカーで運んでいます。6割近い施設には「脱水機」と呼ぶ機械があって、水分と固形分を分けて扱いやすくしています。脱水機にかける汚泥はちょうどケーキカステラのようになります。でも、水分がまだ85%も含まれている



のです。それになまだ発酵していませんので臭いだったり、べたべたしたりして、評判がよくありません。それで、畜産の糞と一緒に発酵させたり、乾燥させ水分を少なくして粒状にしたり、脱水した汚泥にもみぐら等を混ぜて発酵させる施設（これを堆肥化施設またはコンポスト施設と呼びます）を設けています。

汚泥は捨てれば「廃棄物」

汚泥は土壌改良材として土壌の物理性を改善したり、「肥料」分も含まれているので、植物の栄養として再利用することができます。しかし、汚泥は捨てれば「廃棄物」となって見捨てられ、嫌われものになってしまいます。

そこで、土壌へ戻す方法が最も望ましい姿だろうと考えています。（写真1）。実際に使うとなるとどうも心配で不安に思っている方もいると思います。

【細菌は大丈夫か？】

汚泥を発酵したり乾燥したりする段階で高温になるので細菌はほとんど死滅してしまっています。

【重金属は大丈夫か？】

施設には工場などからの排水はいれませんが、通常は問題ありません。

【近所迷惑にならないか？】

発酵が完了したものは農地にまいても悪臭は発生しません。

具体的な取り組み状況

富士見村では4力所の処理施設が動いています。いずれも脱水後乾燥して粒状になった汚泥を地域内の農地にまいています（写真2）。



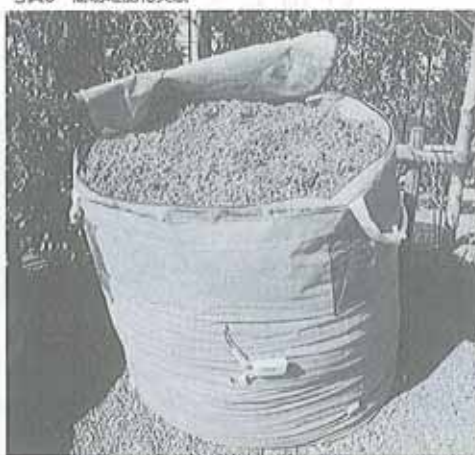
写真2 粒状の乾燥汚泥

中之条町では小型のコンポスト施設を導入し、農地への散布を検討しています。

県及び本協議会では市町村の協力を得て、脱水汚泥をもみぐらなどと混ぜて通気性のある袋で発酵させる方法を実験しています（写真3）。

今、飽食と使い捨ての時代から、環境を大切に、廃棄物を捨てないで再利用する時

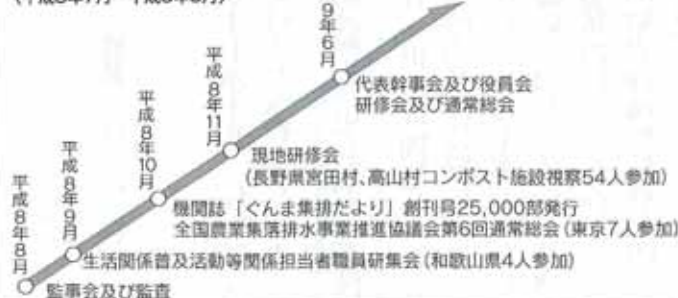
写真3 簡易堆肥化実験



代へと大きく転換しようとしています。身の周りの資源をもう一度見直し、できることから行動しましょう。

【平成8年度活動報告】

（平成8年7月～平成9年6月）



平成9年度 群馬県農業集落排水事業連絡協議会新役員紹介



会長/石原 修治
(前橋市協議会代表)



副会長/長野 徹
(高崎市協議会代表)



副会長/近藤 源吉
(富士見村協議会代表)



副会長/金井 郁治
(子持村協議会代表)



監事/芝崎 完司
(沼田市協議会代表)



監事/中村 勇司
(太田市協議会代表)

石原新会長挨拶

平成九年の六月の総会において図らずとも役員に選任を頂きました。もとよりその器ではなくみなさまのご指導ご協力を頂かなければなりません。幸い半数の方が留任されたので大変強く思っております。

さて農業を取り巻く昨今の諸状況は誠に厳しく諸事業の推進に当たっては関係諸機関の方々にご支援をお願いし、私達会員も一丸となって、より良い地域の生活環境づくりに邁進したいと思っております。また永年に亘り会の発展に尽力された役員の方々に感謝を申し上げ、会の益々の発展をご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

甘楽町の農集排について

主筆 松浦 壽江

私共の農業集落排水処理施設(城南上野地区)は平成三年に工事を始め、国や県の助成を受け約十四億円の工事費で平成八年三月に竣工しました。住民は各戸毎に積立金をして施設の完

成を待ちました。この地域は高低差が多いので低地はポンプアップをして、下水がスムーズに流れるように工夫されています。

私の家はたまたま接続工事が早く完成第一号でした。それまで使っていた浄化槽を取り除き新しい下水管につなぎ、トイレの汚水も勝手廃水も風呂の水も一括処理され、清潔で快適な生活になりました。また、見学した処理施設では大小のパイプやタンクの中を汚水が流れながらきれいな水となって河川に戻り、汚泥も水分を抜かれて堆肥工場へ運ばれることを知りました。

今は地球環境の時代と言われ、大気や水の汚染或いは自然景観の保護に強い関心が寄せられています。日本一の清流を誇る四国の四万十川も、沿岸住民の並々ならぬ工夫と努力で保たれているといえます。全国名水百選に入った城下町小幡の雄川堰にも一部生活雑排水が流れ込み心配されましたが、農集排

利用者の声

(農村下水道)と公共下水道で解決されました。

私達の生活に切っても切れない水の問題も井戸水使用から上水道へ、また廃水は農集排(農村下水道)で処理され、生活環境が快適に整備される時代となりました。今後共できるだけの農村で、農集排の計画が実施されますよう心から願っております。



甘楽町上野在住
松浦 壽江

箕郷町善地地区について

主筆 山口 香代子

善地地区は役場より北西方向の県道榛名山・箕郷線、一級河川車川に沿って形成された急傾斜地(標高二〇〇m〜五〇〇m)に位置し、北西から南東へ広がる5集落によって構成されています。

平成八年七月に供用開始され、約一年ほど経過しましたが、供用開始に向けて私の家では供用開始後いち早く宅地内の排水設備工事を行いました。また、トイレを水洗化し、和式から洋

式とし、今流行のウォシュレットを設置しました。以前に比べると悪臭もなくなり、足、腰の弱い祖母も安心して使用できるので大変喜んでいきます。

四月に処理場の見学会があり、参加して処理場の仕組みや「下水道だから何でも流してよい」のではなく、絶対流さないでほしいもの、日常利用者に注意してほしいもの等の説明を受けました。このことをとおして処理施設の機械を長持ちさせるには各家庭で一人一人が注意して利用することが大切であることを痛感しました。

最後に、中山間地域にも下水道が完備され、利用できたことに大変感謝しております。

- 発行者 群馬県農業集落排水事業連絡協議会
- 事務局 群馬県土地改良事業団体連合会
〒371-0837 前橋市箱田町350番地
TEL027-251-4105
- 編集人 石原修治
- 印刷 (株)アルファー企画

家庭における維持管理

みんなの処理場を大切に使うための

日常の注意ポイント

台所では

- ・油、食べ残し、野菜くず等は流さない。
- ・汁物の料理などは、残して捨てることのない量を作る。



トイレでは

- ・トイレ専用紙以外は使わない。
- ・異物は投げ入れない。
- ・便器の清掃は中性洗剤でうすめて使い殺虫剤は使わない。



風呂・洗面所では

- ・髪の毛、糸くず等を排水口に流さない。



洗濯場では

- ・洗剤は、分解性の高い無リンのものを使う。
- ・洗濯機には、糸くずフィルターをつける。



宅地内では

- ・排水マスは、雨水が流入しないようにする。

絶対に流してはいけないもの

- × 農薬・農薬器具の洗浄水
- × 石油類 (灯油、オイル、グリスなど)
- × 使い古しの食用油
- × 車、農機具などの洗浄排水
- × 衛生用品、生理用品、紙おむつ
- × 石、木片、プラスチック等
- × 雨水

なぜ

- ◇ 汚水を処理するのは微生物の仕事です。
- ◇ 微生物はデリケートなものであるため、濃度の高すぎる汚水や分解することが難しい無機物などを含む汚水の処理は苦手です。
- ◇ 水に溶けない紙や紙おむつ、タバコやガム、ビニールなどを流すと排水管のつまりの原因となります。

管理者側の声

- ◇ マンホールや公共ますは、下水管の点検や修理、清掃をする時に使うものですのでふたをあけてゴミや土砂などを捨てないで下さい。
- ◇ 糸くずや毛髪の流入は、機器などにかからまりトラブルの原因となりますので、排水口にはネットやストレーナ等を付けて流さないように気をつけて下さい。



集落排水事業は、生活排水の適正処理によって生産性の高い農業や美しい環境を保全するための大切な事業です。一人一人の心がけと、地域全体で申し合わせ事項を決める等、集落のみんなで水質管理に努めることは地域の活性化にもつながります。